

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

グループ長期ビジョン

次世代デベロッパーへ。社会課題解決と企業成長を両立させ、2030年に連結事業利益1,200億円を達成。

連結事業利益
1,200億円連結事業利益
950億円ROE
10%D/Eレシオ
2.4倍程度

② 中長期の経営戦略

1. 資産回転型事業の加速・拡大

年平均2倍の回収1兆1,400億円と1.8倍の投資1兆2,800億円により資本効率向上を実現。

3. 規律あるバランスシートコントロール

固定資産売却1,300億円以上、D/Eレシオ2.4倍程度などの財務指針で健全性維持。

2. 安定収益基盤の強靱化

事業ポートフォリオを賃貸・分譲売却・サービスで管理し、高水準の資本効率と利益成長を目指す。

4. 経営インフラの高度化

成長を支える経営基盤の強化を推進し、組織横断的な競争力向上を実現。

③ 対処すべき課題

① 不確実性の高い経営環境への対応

- ・ コロナ禍による行動変容への対応
- ・ 地政学リスク上昇への対応
- ・ 建築費高騰とインフレ対策

② 事業ポートフォリオの最適化

- ・ 2030年に分譲売却の割合を増加、賃貸の割合を減少する方向転換
- ・ 事業利益構成：賃貸30%・分譲売却60%・サービス10%の維持と進化
- ・ 事業環境変化への適応と高水準の資本効率実現

③ 社会課題解決への貢献

- ・ 14のマテリアリティを特定し課題解決に取り組み
- ・ SDGs達成への貢献を掲げた事業展開

面接で使えるポイント

- ・ 2030年連結事業利益1,200億円と次世代デベロッパービジョンの実現を牽引する経営姿勢。
- ・ 1兆1,400億円の回収と1兆2,800億円の投資で年平均2倍の資産回転を加速させる戦略。
- ・ 14のマテリアリティと事業を通じた社会課題解決で持続可能な社会創造に貢献する価値観。

証券コード 8804

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

暗記する数字3つ

連結売上高
4,746億円営業利益率
20.2%財務健康度
54点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 64.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収
1,186万円

不動産業内 13位/130社

平均年齢
41.0歳

不動産業内 53位/131社

平均勤続
11.0年

不動産業内 21位/131社

女性管理職
13.7%

不動産業内 31位/76社

男性育休
87.5%

不動産業内 22位/57社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

要するに

1896年創立の大手不動産企業で、東京都中央区に本社を置き

主力事業・セグメント

- ・ コマーシャル不動産 49.1%
- ・ Residential 36.8%
- ・ 資産サービス 14.1%

強み・特徴（公開データから）

- ・ 連結売上高4,746億円の事業規模
- ・ 営業利益率20.2%と高い収益性
- ・ 東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: 3か月間の連載広告「東京建物グループ役職員のひとこと」 本日より

